

\* 調査の詳細は、ホームページをご覧ください。

アイコン 景況調査



## 業況判断 DI は 3 期連続改善。

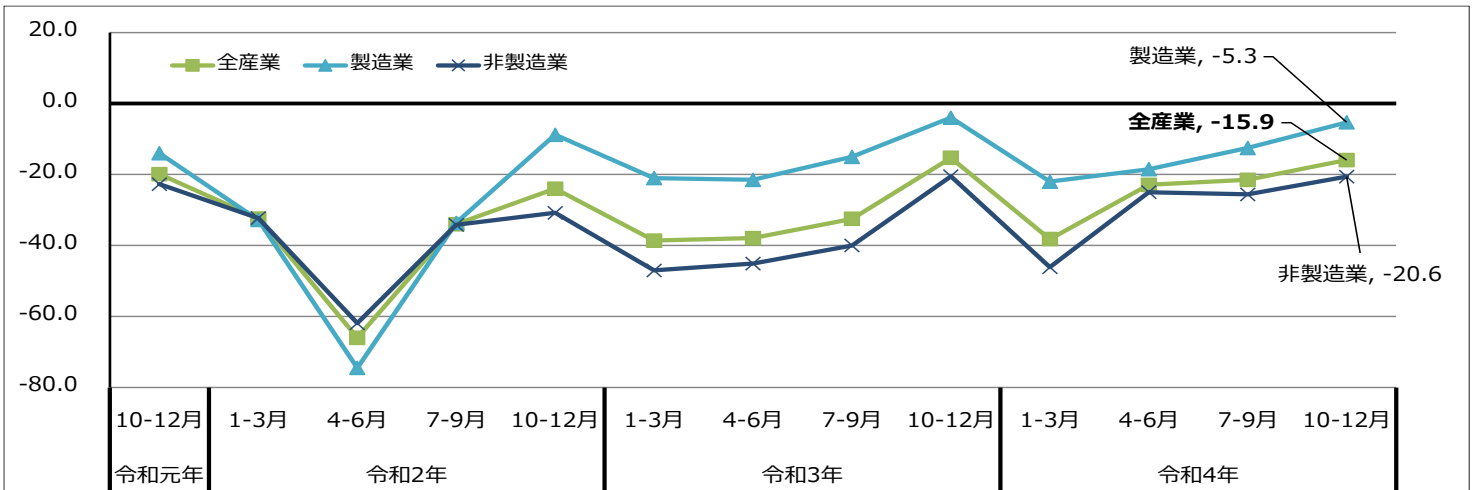
仕入価格高騰は未だ課題。従業員の不足を感じる事業所が増加傾向。

- ◆ 売上高等は持ち直し傾向 . . . 全産業、非製造業で改善。製造業で大幅に改善。
- ◆ 仕入価格は高水準続く . . . 全産業、非製造業で上昇。製造業では低下も水準は高止まり。
- ◆ 従業員の不足感強まる . . . 全産業、製造業、非製造業のいずれも不足感が上昇傾向。

### ◆ 業況判断（前期比）注（ ）内は前回調査との差を示します。

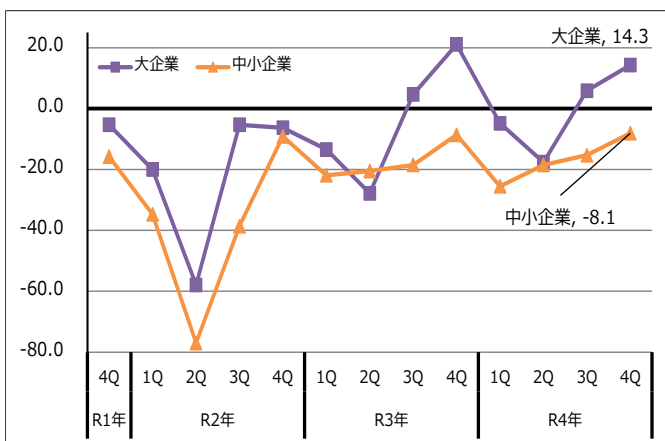
#### <全体>

業況判断 DI は、▲15.9（+5.6）で改善しました。産業別では、【製造業】は▲5.3（+7.2）、【非製造業】は▲20.6（+5.0）で改善となりました。



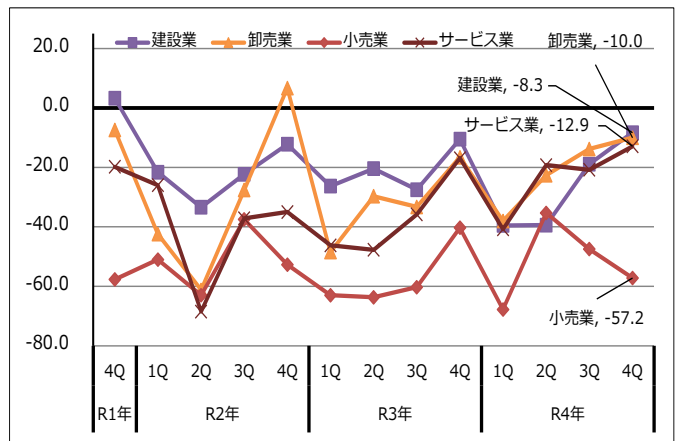
#### <製造業（規模別）>

【大企業】は 14.3（+8.4）、【中小企業】▲8.1（+7.2）で 3 期連続改善しました。



#### <非製造業（業種別）>

【建設業】で▲8.3（+10.6）、【卸売業】で▲10.0（+3.8）、【サービス業】で▲12.9（+7.9）で改善、【小売業】は▲57.2（-9.7）で悪化しました。



#### DI とは

景気動向指数「デフュージョン・インデックス（Diffusion Index）」の略。「好転」（または「上昇」「増加」「過剰」と）回答した企業の比率から「悪化」（または「下降」「低下」「不足」と）回答した企業の比率を差し引いたもので、業況の方向感を図るための指標です。

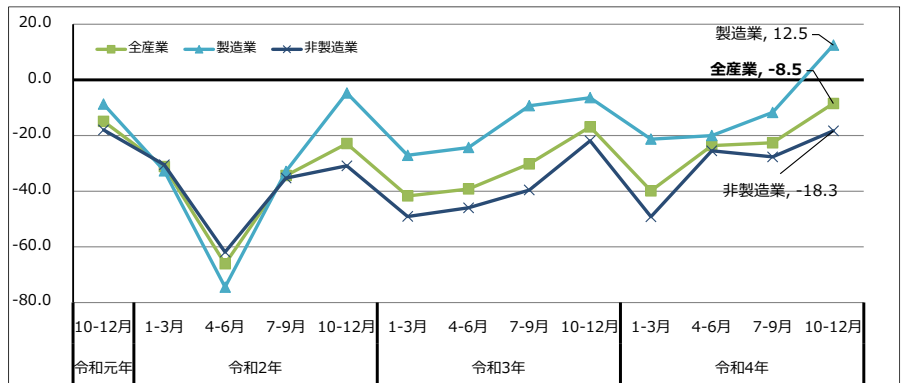
## ◆業界天気図



業種 項目	全産業	製造業			非製造業				
		全体	大企業	中小企業	全体	建設業	卸売業	小売業	サービス業
今回業況判断DI値									
前回との差									

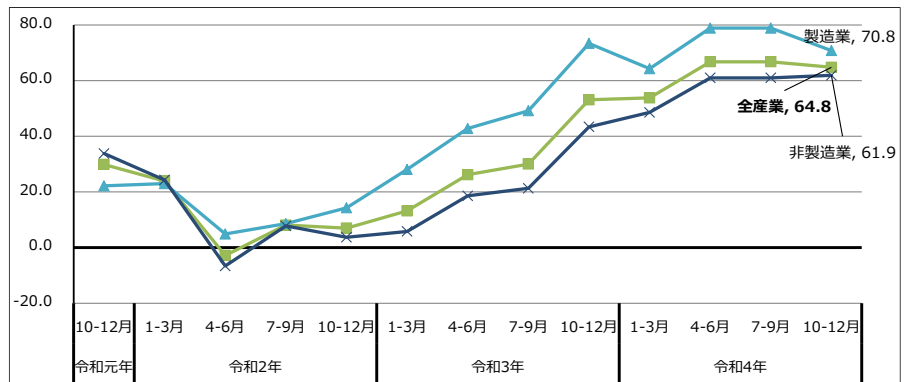
## ◆出荷額・売上高・完成工事高

- 出荷額・売上高・完成工事高 DI は、▲8.5 (+14.1) で、改善しました。
- 【製造業】では大幅に改善、【非製造業】では、改善となりました。【製造業】ではプラス圏に転じ、「上昇」と回答した企業の割合が「下降」と回答した企業の割合より高くなりました。



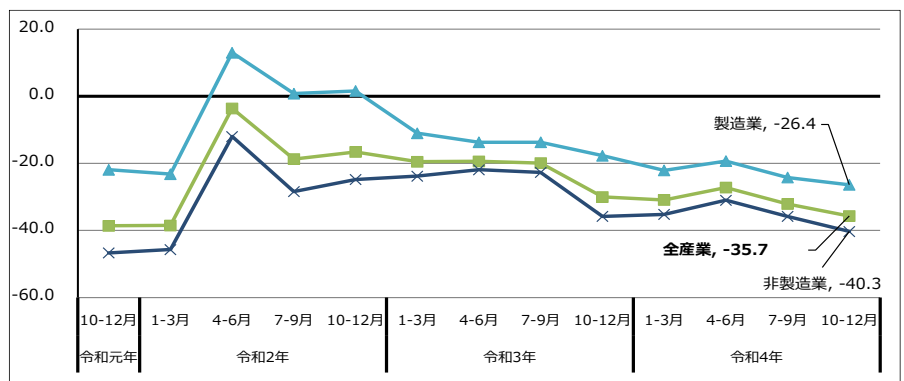
## ◆仕入価格

- 原材料仕入れ価格 DI は、64.8 (+1.6) で上昇しました。
- 【製造業】では、70.8 (-2.5) と下落しましたが、【非製造業】では、61.9 (+3.2) となり、仕入れ価格 DI は過去最高水準となりました。全産業で高止まりしています。



## ◆従業員過不足

- 従業員過不足 DI は、従業員が「過剰」なのか「不足」しているのかを示すものです。全産業で▲35.7(-3.6)で低下し、不足感が上昇しました。
- すべての産業で「不足」していると回答した企業の割合が、「過剰」として回答した企業の割合を上回っています。



### <本資料の問い合わせ先>

■ 尼崎市 経済環境局 経済活性化課

担当: 田枝・西岡

連絡先: 06-6489-6670

■ (公財) 尼崎地域産業活性化機構 調査研究室

担当: 藤野・宮崎

連絡先: 06-6488-9501 (代)

<https://www.ama-in.or.jp/research/sub01.html>